

はじめに

「ことば」を建物にたとえてみれば、「単語」は建物を作るための資材です。そして「文法」はその組み立て方です。「資材」への知識がいくらあっても、その「組み立て方」への知識が欠けていれば、建物全体を正しく把握することはできません。「資材」も大切ですが、「組み立て方」も大切です。単語がどう組み立てられて「文」を作るのか? 「文法」は「文」を理解するために欠かせないので、学習項目なのです。

もちろん、「文法」学習の中には「資材」の学習も含まれます。助動詞・助詞の学習がそれに当たります。助動詞・助詞の意味を正しく押さえなければ、文を正確に読み解くことはできません。

■ゼロからスタート イチから再スタート

この本は、古典文法をゼロから学び始める人のために作りました。また、もう一度イチから学び直そうと思ふ人のために作りました。この本を手にとった人が、

自分ひとりで学べるように、基礎の基礎、ゼロ地点から解説しています。ほかの文法の本の助けは要りません。これ一冊だけで学べるように、この本は作ってあります。

■少し大きめの青い字

この本の文字の中には、黒い字よりも少し大きめの青い字があります。ぜひ身につけてほしい言葉を少し大きめの青い字で表しました。

■声に出して字をなぞる

字を大きめにしたのは、その言葉が大切だからというだけではありません。鉛筆を手にとって、なぞってほしいと思ったからです。なぞることでその言葉がすらすらと頭に入ってくると思うからです。なぞるとき、その言葉を声に出してみましよう。声に出して字をなぞる。学習効果がいつそう増すはず。ぜひ実践してみてください。

■本の構成

この本は、各章とも、その章の総論的な解説から各論へと展開しています。各論は、ホップ・ステップ・ジャンプから成り立っています。ホップはその章の基礎となる学習です。これを踏み台として、学習はステップ・ジャンプへと発展していきます。

■一歩一歩

古典文法をゼロからではなく、もう一度イチから学び直そうと思う人のなかには、これは知っているとしてホップを飛ばしてしまう人がいるかもしれません。それはいけません。知っていると思っても必ずホップから学習を進めていってください。すでに歩いたことのある道でも、一歩一歩確かめながら歩み進める。学び直しの基本です。

■反復学習

この本は、大切なことは繰り返し記しています。

またかと思わずに取り組んでください。反復学習こそが学習の王道なのです。

■例文

この本の、第3章助動詞から以下の章、そして付録に掲げられている用例は実際の古文の作品から採ってきた文です。途中で切れることなく、文として完結しているものを例文として掲げています。一通り学習したあと、それでよしとはせずに、またこの本を手にとって各例文を時々音読することを勧めます。例文だけではなく、黒い字よりも少し大きめの青い字もあわせて音読することを勧めます。そうすれば、古典文法の学力は盤石なものになるにちがいありません。

では、さあ、さっそく学習していきましょう。

目次

第1章 文法入門 基本用語を身につける……………10

文法とは……………10

品詞とは……………10

ホップ……………11

1 自立語と付属語……………2

2 文節……………3

3 品詞分類表……………

4 活用と活用形……………14

5 ステップ……………

6 自立語・付属語・文節の復習……………

7 副詞と連体詞……………15

8 命令形……………

9 ジャンプ……………

10 品詞の復習……………

第2章 用言 用言は文法の礎……………16

用言とは……………16

【動詞】……………16

ホップ……………16

1 語幹・活用語尾・活用表……………

2 活用の種類と活用の行……………

3 形容詞の見分け方……………

4 形容詞の語幹上げなり……………

⑤下二段活用 ⑥カ行変格活用 ⑦サ行変格活用

⑧ナ行変格活用 ⑨ラ行変格活用

ステップ……………28

3 活用の復習……………

ジャンプ……………29

4 活用の種類の決め方……………5

5 活用の行の復習……………

6 終止形の決め方……………32

【形容詞】……………32

ホップ……………32

1 活用の種類と活用のありかた……………

ステップ……………34

2 本活用とカリ活用……………

ジャンプ……………35

3 形容詞の大切な語幹用法……………

①感動・強調表現 ②原因・理由表現

【形容動詞】……………36

ホップ……………37

1 活用の種類と活用のありかた……………

ナリ活用とタリ活用

ステップ……………38

2 形容詞の語幹上げなり……………

ジャンプ……………38

3 形容動詞の見分け方……………

第3章 助動詞 文法の頂に登る

助動詞とは

1 自発・尊敬・可能・受身の助動詞 **る** **らる**

ホップ

1 活用 2 接続 3 意味

ステップ

ジャンプ

2 使役・尊敬の助動詞 **す** **さす**

ホップ

1 活用 2 接続 3 意味

ステップ

ジャンプ

3 打消の助動詞 **ず**

ホップ

1 活用 2 接続 3 意味

ステップ

ジャンプ

4 過去の助動詞 **き**

ホップ

1 活用 2 接続 3 意味

ステップ

ジャンプ

5 過去・詠嘆の助動詞 **けり**

ホップ

1 活用 2 接続 3 意味

ステップ

ジャンプ

6 完了の助動詞 **たり** **り**

ホップ

1 活用 2 接続 3 意味

ステップ

ジャンプ

7 完了の助動詞 **つ** **ぬ**

ホップ

1 活用 2 接続 3 意味

ステップ

ジャンプ

8 推量の助動詞 **む** **ん**

ホップ

1 活用 2 接続 3 意味

ステップ

ジャンプ

4 婉曲・仮定の助動詞 **む** **ん** **ず** **ん** **ず**

9 推量の助動詞 **む** **ず** **ん** **ず**

ホップ

1 活用 2 接続 3 意味

ステップ	活用	接続	意味	87
ホップ	活用	接続	意味	84
ジャンプ	活用	接続	意味	84
ジャンプ	活用	接続	意味	83
ステップ	活用	接続	意味	81
ホップ	活用	接続	意味	81
ステップ	活用	接続	意味	80
ジャンプ	活用	接続	意味	80
ホップ	活用	接続	意味	78
ステップ	活用	接続	意味	78
ジャンプ	活用	接続	意味	77
ジャンプ	活用	接続	意味	77
ホップ	活用	接続	意味	75
ステップ	活用	接続	意味	75
ジャンプ	活用	接続	意味	75
ステップ	活用	接続	意味	74

ジャンプ	願望の「まし」	87		
ホップ	推量の助動詞「らむ」「らん」	88		
ステップ	活用	接続	意味	88
ジャンプ	推量の助動詞「けむ」「けん」	91		
ホップ	活用	接続	意味	91
ステップ	活用	接続	意味	91
ジャンプ	断定の助動詞「なり」	93		
ホップ	活用	接続	意味	94
ステップ	活用	接続	意味	94
ジャンプ	存在の「なり」	96		
ホップ	断定の「に」「に」	96		
ステップ	助詞の「に」	98		
ジャンプ	推定の助動詞「めり」	98		

107 イ音便

106 ホップ

106 ステップ

106 音便とは

106 第4章 音便 変化する音

105 ジャンプ

104 ステップ

103 ホップ

103 1 活用 2 接続 3 意味

102 ジャンプ

102 ステップ

102 19 願望の助動詞 まほし

100 ホップ

100 1 活用 2 接続 3 意味

100 伝聞の「なり」・推定の「なり」

99 ジャンプ

99 「ー(ん)+めり」

99 ステップ

99 4 婉曲の「めり」

107 ステップ

125 ホップ

125 係助詞

125 3 係助詞

118 ホップ

118 1 格助詞

117 ジャンプ

117 2 接続助詞

132 ステップ

■ 係り結びの法則

1 は 2 ぞ 3 なむ 4 こそ 5 や 6 か

125 ホップ

125 3 係助詞

9 反復の「し」

124 ジャンプ

123 ステップ

6 つつ 7 ものから 8 ものを

1 ば 2 とも 3 ども 4 にを 5 で

118 ホップ

118 2 接続助詞

117 ジャンプ

115 ステップ

111 ホップ

111 1 格助詞

110 助詞とは

110 1 格助詞

111 ホップ

111 の 2 が 3 に 4 と 5 より 6 して

110 第5章 助詞 再び文法の頂に登る

110 再び文法の頂に登る

107 ジャンプ

107 2 撥音便

副詞とは

146

第6章 副詞・連体詞 修飾するのは用言？体言？

146

1	や	を	144						
1	ホップ	144							
6	間投助詞	144							
9	「なむ」の識別1	10	「なむ」の識別2	142					
1	ジャンプ	142							
1	ステップ	142							
5	ものか	ものかは	6	な	7	かな	8	かし	139
1	ばや	2	てしがな	3	なむ	4	もがな	139	
5	ホップ	139							
5	終助詞	139							
5	「こ」の識別	138							
5	ジャンプ	138							
1	ステップ	138							
1	ホップ	134							
1	「だに」	2	は	3	し	4	のみ	134	
4	副助詞	134							
7	「なむ」の識別	133							
1	ジャンプ	133							

付録 マスターしたい敬語動詞

156

7	ジャンプ	155				
7	自敬表現2	155				
6	自敬表現1	154				
1	ステップ	154				
4	最高敬語（二重尊敬）	5	絶対敬語	150		
1	敬語の種類	2	本動詞と補助動詞	3	二方面敬語	150
1	ホップ	150				
敬語とは	150					

第7章 敬語 敬語はことばのエチケット

150

1	ステップ	148
1	ジャンプ	148
1	ホップ	146
1	連体詞とは	146